

日本環境学会 第 52 回 (2026 年) 研究発表会

予稿集原稿 執筆要領

1. 予稿集原稿の形式

- 1) 予稿集原稿は電子メールにて、**件名とファイル名を「JAES2026(連絡責任者氏名)」**として、文章や図等を埋込済の「MS-Word」**ファイル 1 個**と**PDF ファイル 1 個の両方**を大会事務局アドレス (jaes2026@jaes.sakura.ne.jp) までご提出ください。締め切りは **2026 年 5 月 22 (金) 23:00** です (必着)。提出が遅れた場合には、原則として予稿集に掲載できません (研究発表の申し込みを日本環境学会ウェブサイトのフォームから 2026 年 4 月 22 日 (水) までに必ず済ませてください)。
- 2) 用紙のサイズは **A4 版**に限り、原稿枚数は **1 演題につき 1 ページか、2 ページのいずれか**です。
- 3) 今回の予稿集 (PDF 版のみ発行) では図表・写真のカラー表示も可能です。冊子での印刷物を発行しませんのでご容赦ください。
- 4) 予稿集原稿は日本環境学会ウェブサイトで半年後に Web 公開する予定です。公開を希望されない方は、予稿集原稿の送付時のメール本文にその旨をご指示ください。
- 5) 予稿集原稿の著作権および電子的形態による利用も含めた包括的な著作権は、原則として日本環境学会に帰属するものとします。

<自主企画セッションの方のみ>

- 6) **企画セッション**については、**(全体紹介+講演テーマ数)の合計数×2 ページまで**の分量を認めます。なお、それぞれが半ページでも 1 / 4 ページでも構いませんが、企画セッションとしては、**全体で偶数ページ**になるように編集してください。
例) 全体紹介 + 3 演題の場合、最大で合計 8 ページです。また、それぞれ 1 ページとて、合計 4 ページでもかまいません。最大ページを超えない範囲で偶数ページにしてください。

2. 予稿集原稿の作成方法

- 1) 予稿集原稿の作成は、予稿集原稿の雛形ファイルに必ず従って、以下の点に十分ご注意ください。特に、余白の大きさ、文字のフォント及びポイントに十分ご注意ください。**本メールの添付ファイルまたは学会ウェブサイトより、予稿集原稿の雛形ファイルをダウンロードして利用されることを推奨します。**
- 2) 用紙 (A4) には必ず、上 20 mm、下 20 mm、左右 20 mm の余白を取り、その枠内に文書と図表を収めてください。実行委員会にてヘッダー、ページ数を挿入しますので**余白には何も記入しないでください。また、余白の幅は厳守してください。**
- 3) 演題、氏名、所属は原則として上から 6 行以内に記入し、演題と演者は、参加申込み時のものと必ず同一にしてください。
- 4) 演題は MS ゴシック (13 ポイント) を指定してください。
- 5) 氏名と所属は MS 明朝 (10.5 ポイント) を指定してください。連名の場合は、演者の氏名の左側に○印を付けてください。連名者が多い場合は、所属毎に改行せずに続けてご記入ください。
- 6) 本文は 1 段組とし、はじめに、材料と方法、結果、考察の 4 項目に分け、それぞれの文頭にこれらを小見出しとして明示してください。研究内容により上記 4 項目に分け難い場合は、項目の一

部をまとめて、または省略しても構いません。また、小見出しも研究分野によって異なるため、見本に統一しなくても構いません。

- 7) 小見出しは必ずMS ゴシック (10.5 ポイント) を指定してください。
- 8) 本文の日本語はMS 明朝 (10.5 ポイント)、英数字はTimes New Roman (10.5 ポイント) を必ず使用して作成してください。
- 9) 特殊なフォント、外字などを使用する際はご注意ください。特に、Macintosh 等をご利用の方は、Windows パソコンから印刷して文字化け等がないことをあらかじめ十分にご確認ください。
- 10) 引用文献の記載方法は、基本的には本学会誌『人間と環境』の最新の投稿規定に従ってください。
- 11) 図表を載せる場合は、小さな文字や図は避けてください。実行委員会や印刷業者では、図表や写真に関して特別な処理は行いません。

(以上)